

別離

中原中也

青空文庫

さよなら、さよなら！

いろいろお世話になりました
いろいろお世話になりましたねえ
いろいろお世話になりました

さよなら、さよなら！

こんなに良いお天気の日に
お別れしてゆくのかと思ふとほんとに辛い
こんなに良いお天気の日に

さよなら、さよなら！

僕、ひるね午睡の夢から覚めると

みなさん家を空けておいでだつた
あの時を妙に思ひ出します

さよなら、さよなら！

そして明日の今頃はあした

長の年月見馴れてる

故郷の土をば見てゐるのです

さよなら、さよなら！

あなたはそんなにパラソルを振る

僕にはあんまり眩まぶしいのです

あなたはそんなにパラソルを振る

さよなら、さよなら！

さよなら、さよなら！

2

僕、午睡から覚めると、
みなさん、家を空けてをられた

あの時を、妙に、思ひ出します

日向ぼっこをしながらに、

爪^{つめ}摘んだ時のことも思ひ出します、

みんな、みんな、思ひ出します

芝庭のことも、思ひ出します

薄い陽の、物音のない昼下り

あの日、栗を食べたことも、思ひ出します

干された飯櫃おひつがよく乾き

裏山に、鳥が呑気に啼いてゐた

あゝ、あのときのこと、あのときのこと……

僕はなんでも思ひ出します

僕はなんでも思ひ出します

でも、わけて思ひ出すことは……

——いいえ、もうもう云へません
決して、それは、云はないでせう

3

忘にしれがたない、虹と花

忘にしれがたない、虹と花

虹と花、虹と花

どこにまぎれてゆくのやら

どこにまぎれてゆくのやら

(そんなこと、考へるの馬鹿)

その手、その脣、その唇の、

いつかは、消えてゆくでせう

(霧みぞれとおんなじことですよ)

あなたは下を、向いてゐる

向いてゐる、向いてゐる

さも殊勝らしく向いてゐる

いいえ、かういつたからといつて

なにも、怒おこつてゐるわけではないのです、

怒つてゐるわけではないのです

忘わすがたない虹と花、

虹と花、虹と花、

(霧とおんなじことですよ)

4

何か、僕に、食べさして下さい。

何か、僕に、食べさして下さい。

きんとんでもよい、何でもよい、

何か、僕に食べさして下さい！

いいえ、これは、僕の無理だ、

こんなに、野道を歩いてゐながら
野道に、たべもの食物、ありはしない。

ありません、ありはしません！

向ふに、水車が、見えてゐます、

昔むした、小屋の傍、

ではもう、此処からお帰りなさい、お帰りなさい

僕は一人で、行けます、行けます、

僕は、何を云つてるのでせう

いいえ、僕とて文明人らしく

もつと、他の話も、すれば出来た

いいえ、やつぱり、出来ません出来ません。

(一九三四・一一・一一)

青空文庫情報

底本：「中原中也詩集」角川文庫、角川書店

1968（昭和43）年12月10日改版初版発行

1973（昭和48）年8月30日改版13版発行

入力：ゆうきや

校正：木浦

2013年6月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) に作られました。入力、校正、制作にあたつたのは、ボランティアの皆さんです。

別離

中原中也

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>